



東京 2020 オリンピック競技大会の聖火リレーのルート選定
について東葛飾地域の 6 市共同で千葉県知事へ要望活動を実施

平成 30 年 5 月 24 日に、東葛飾地域の 6 市（松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市）は共同で、千葉県知事に対し東京 2020 オリンピック競技大会の聖火リレーのルート選定に関する要望書を提出しました。

要望した日 : 平成 30 年 5 月 24 日（木）午後 3 時 15 分～3 時 30 分

会 場 : 千葉県庁本庁舎 6 階 知事応接室

要 望 先 : 千葉県 森 田 健 作 知事

当日の参加者:	鎌ヶ谷市	清 水 聖 士 市長	千葉県議会	河 上 茂 議員
	流山市	井 崎 義 治 市長		今 井 勝 議員
	我孫子市	星 野 順一郎 市長		武 田 正 光 議員
	松戸市	本郷谷 健 次 市長		中 沢 裕 隆 議員
	野田市	今 村 繁 副市長		石 井 一 美 議員
	柏市	鬼 沢 徹 雄 副市長		



※写真左から、柏市鬼沢副市長、松戸市本郷谷市長、千葉県森田知事、鎌ヶ谷市清水市長、流山市井崎市長、我孫子市星野市長、野田市今村副市長

東葛飾地域の 6 市は、平成 26 年 6 月に東京 2020 オリンピック競技大会の聖火リレーのルート選定について国や東京オリンピック・パラリンピック組織委員会に対して要望書を提出し、その後も共同で要望活動を実施してきました。今年度は、ルートの検討が各都道府県において本格的に始まる

ことから、千葉県知事に対し要望書の提出を行うこととしました。

当日は、東葛飾地域選出の5人の県議会議員にもご出席いただき、6市を代表して、千葉県市長会の会長である鎌ヶ谷市の清水市長から森田千葉県知事に要望書を手交しました。

東京2020オリンピック競技大会では、聖火リレーを通じて、復興に力を尽くしている人に元気や力を届けるとともに、震災から10年目の日本の姿を発信していくとしています。平成23年3月に発生した東日本大震災では、千葉県の多くの自治体が被災し、東葛飾地域の6市でも地震の揺れや液状化で多くの被害がでました。特に我孫子市では布佐地区を中心に、建物の全壊134棟、半壊99棟の被害を生じましたが、災害救助法の適用も受け、震災直後から復旧・復興に取り組んできました。

このような経緯を踏まえ、今回の要望書では、当地域における震災からの復興を世界に向けて強くアピールするため、聖火リレーの県内ルートを通る東葛飾地域すべての自治体を通るルートとするよう求めました。また、聖火リレーのルートの選定やランナーの人選にあたっては、各自治体と十分に調整を行うことも、あわせて要望しました。

我孫子市の星野市長は、森田知事に対し、「布佐地域には、震災直後からボランティアでまちの復興に携わった子供たちがたくさんいる。彼・彼女たちが聖火ランナーとして復興したまちを走ることができたら、大変素晴らしいことだと思う」と語り、東葛飾地域を聖火リレーのルートとしてほしいと強く要望しました。

【問い合わせ】

我孫子市企画財政部企画課 担当 嶋田、安武

☎04-7185-1426（直通）

04-7185-1111（内線228）



中
沢
県
議

武
田
県
議
石
井
県
議
今
井
県
議

柏
市
鬼
沢
副
市
長
松
戸
市
本
郷
谷
市
長

河
上
県
議

千
葉
県
森
田
知
事

鎌
ヶ
谷
市
清
水
市
長

流
山
市
井
崎
市
長

我
孫
子
市
星
野
市
長

野
田
市
今
村
副
市
長